

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		守田 昌哉		所 属	熱帯生物圏研究センター	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.15	大学院授業および臨海実習において内容の濃い、学生の満足度の高い講義および実習になるように心がける。		0.15	公開臨海や学部および院生向けの授業を行い、また質問等にも丁寧に答えるように心がけた。		
研究	0.40	専門分野に関する論文を二本出版する。大型予算獲得のために共同研究を積極的に行う。		0.40	専門分野に関する論文を英文で1報、和文で2報出版した。英文の論文2報も査読中である。また、大型予算獲得のため、共同研究も推進しており、現在、共同研究者との論文が査読中である。		
社会 貢献	0.10	学会の委員を行う。依頼があれば、雑誌のレフリー、エディターも行う。		0.10	学会の委員を引き続きおこなった。また、雑誌のレフリーを10報程度行なった。		
管理 運営	0.10	委員会に出席し大学の運営に関与する。また、施設の維持管理に努め、故障機械の修理や維持などには特に気を配る。		0.10	本学の委員会にオブザーバーとして参加した。また、施設の機器の維持管理にも努めた。		
	0.25	学生の求める研究テーマを丁寧な指導で自立的に行えるようにする。		0.25	博士1名、修士2名の卒業までの指導を行なった。卒業生のうち2名は研究関連での就職が決まった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山城 秀之	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	授業を通して、熱生研や瀬底研究施設の教育内容をPRする。公開臨海臨海実習を始めとした臨海実験所としての実習プログラムなどに積極的に貢献する。			0.20	修士課程「サンゴ礁生物相互作用論」および博士課程「サンゴの病気特論」の講義を行った。公開臨海実習(東大海洋学際教育プログラムとの共催「沖縄で学ぶサンゴ礁学:サンゴ礁生物、地形・地質、および環境保全に関する実習」)を実施した。		
研究	0.50	科学研究費(基盤C, 3ヶ年の最終年)の成果を着実に仕上げる。科学研究費(基盤B, 分担, 初年度)の研究を計画的に遂行する。また、その他の競争的外部資金の獲得にも努める。複数の論文を投稿(掲載)する。			0.40	科学研究費(基盤C), 競争的外部資金(プロナチャー)を実施し完了した。科研費(基盤B)および中期計画達成プロジェクト経費による研究を開始した。国際誌1報(筆頭1), 査読誌4報(筆頭1)および総説1報を発表した。国内学会でサンゴの病気に関する口頭発表を行った。		
社会貢献	0.10	熱帯生物圏研究センター職員として、および瀬底研究施設職員として様々な社会貢献活動に貢献する。地域貢献にも積極的に取り組む。			0.10	自然保護助成基金による公開講演会(於県立博物館)でサンゴの保全に関する発表およびパネル討論を行った。県立名護高校や県外の高校, JBエコロジー他の研修を行った。		
管理運営	0.20	瀬底研究施設の管理運営に施設長(2年目)としてより効率的に取り組む, 平行して施設教職員との連携を深める。			0.25	瀬底研究施設の管理運営に取り組んできた。施設職員のサポートもあり, 順調にこなすことができ, また連携も深まった。		
	0.00				0.05	学内の学生および施設を訪れた共同研究者の学生等と懇談し, 進路等に関する話を聞いたり, アドバイスを行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		渡辺 信	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.15	西表研究施設における長期集中講義及び実習を3つ実施する中で、以下の事項に関し、十分な学生の理解を促す。(1)サイエンスの中心より広がるユニバース(教育)の中における熱帯森林学の位置づけ。(2)分子生物学から生態学迄手段を選ばない研究アプローチ手法。			0.15	教育目標は二項目とも概ね達成した。(0.14点)		
研究	0.45	(1)科研費基盤(B)研究の円滑な推進。(2)IF付き国際学術誌にファースト若しくはコレスポンディングオーサーとして研究論文を1本執筆する。(3)競争的外部資金の新規獲得。(4)今年度実施する2つの共同利用研究並びに国内客員研究員との共同研究の円滑な推進。			0.45	(1)海外出張業務が増えたことにより、科研費研究に遅れが生じた。(2)IF付き国際学術誌に第一著者で1本掲載、共著で1本を投稿中。2つの国際学会で研究成果を発表した。(3)代表者として挑戦的萌芽研究、メンターとして科研奨励研究に応募した。(4)共同利用研究は概ね目標を達成した。(0.4点)		
社会貢献	0.10	竹富町への教育を中心とした協力。林野庁関連委員会の委託委員。各種Peer Reviewへの協力。様々な外部機関から依頼のある教育実習及び研究調査の対応。JSPSの審査。			0.10	林野庁の委託委員、竹富町への各種協力活動、Peer Reviewへの協力を行い、学外大学の野外実習対応2件、SSH対応3件、中学校の野外実習対応2件、予定外の研究調査にも積極的に協力した。(0.1点)		
管理運営	0.30	施設今年度予算計画及び運営の円滑な実施。長年放置されてきた老朽箇所の修繕及び廃棄物の廃棄、設備更新。			0.30	施設運営は概ね良好に進められたが、運営交付金の急激な減少のため、来年度以降の省エネ化と予算作成段階での対策が必要。懸案であった作物調査室の改装が実施されたため、研究施設のリノベーション計画を最終フェーズへ移行する。(0.28点)		
	0.00				0.00	指導対象者無し		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	自己採点結果:1点満点中0.92点		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		徳田 岳	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	「生命科学入門」を通じて、共通教育に参加する。また、理学部および理工学研究科専門科目の講義・実習を通じて理学部学部生ならびに理工学研究科大学院生の教育にも携わるとともに、大学院生の教育研究指導を行う。			0.25	「生命科学入門」を通じて、共通教育に携わった。また、理学部専門科目の講義および実習を担当し、理学部学生の学部教育にも携わった。さらに大学院理工学研究科博士前期および後期課程の講義を担当するとともに、大学院生の研究指導を通じて大学院教育に携わったことに加え、大学院改組タスクフォースにも参加した。		
研究	0.30	学内外の共同研究者と共に最低1報の研究論文の採択を目指す。競争的研究資金など外部資金の獲得を目指し、研究環境の整備・充実を図る。			0.30	平成27年度は査読付き原著論文3報、日本語報文1報を発表した。また、外部資金獲得に関しては継続課題を含め、科研費を4件(代表者3件と分担者1件)獲得した。また通常の学会発表に加え、日本分子生物学会・生化学会合同大会ではシンポジウムで招待講演も行った。さらに海外学術調査や国際シンポジウム主催を通じた国際学術交流も実施した。		
社会 貢献	0.15	ホームページや市民公開シンポジウムを通じて、地域への情報発信を行う。学会役員等としての活動を行い、地域社会への大学や研究機関における研究成果の還元に貢献する。			0.15	熱生研の公式HPの維持管理を行うと共に広報委員長として、熱生研の活動を地域社会に情報発信した。また、市民公開展示会でポスター展示を行い、地域への情報発信を行った。さらに、日本蚕糸学会九州支部委員として活動した。		
管理 運営	0.30	分生研レイアウト委員や熱生研広報委員として積極的に管理運営に努める。また、全学の化学物質管理体制の確立に向けて引き続き活動する。さらに、熱生研の遺伝子組換え生物等使用実験安全主任者および全学安全委員会委員長として、適切な組換え生物等の管理を実施する。			0.30	分生研のレイアウト・施設公開実行委員、副施設長、熱生研広報委員長として活動した。また、全学の化学物質管理専門部会の委員や遺伝子組換え生物等使用実験安全委員会の委員長として化学物質や組換え生物の適切な管理に努めた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		岩崎 公典	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	学部担当科目(生命科学入門、生物資源利用とサイエンス)の講義の一コマを担当する。研究室の学生の指導に関しては、留学生の比率が大きくなっていることから、出来る限り英語による教育、指導を心がける。特に博士課程の学生に対しては、論文投稿に係る指導を行う。			0.20	学部担当科目講義に関しては、レポートの内容から概ね適切な講義が行えたものと判断している。研究室の学生指導に関しては、留学生を含め適切な指導を行えたものと考えている。指導した学生の論文は査読付き英文誌にAcceptされた。		
研究	0.50	昨年度の研究成果を学術誌に投稿する。また、国際学会での報告発表を行う。亜熱帯資源を利活用した健康長寿社会推進に関連する助成金の獲得を目指す。			0.40	研究成果を査読付き英文誌に投稿しAcceptされた。この成果は国内の学会で発表した。外部資金に関しては県のプロジェクト型の予算を継続して獲得しており、次年度への継続も決定した。		
社会貢献	0.10	共同研究を通して、専門技術を要する動物実験による機能性評価や活性測定などを行い、企業製品の付加価値の向上を技術面からサポートする。施設公開や、市民公開講座を通して、研究成果を広く地域に公開する。			0.30	高専やOISTとの共同研究成果物を「第39回沖縄の産業まつり」で紹介した。施設公開や、市民公開講座を通して、研究成果を広く地域に公開した。「平成27年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部及び日本食品科学工学会西日本支部合同大会」の市民フォーラムの開催を幹事として支援した。		
管理運営	0.10	全学情報システム運用委員会技術責任者および技術担当者、発明審査委員会委員、および共同研究施設等安全衛生委員会委員として活動する。センター共通分析機器(主に質量分析装置、共焦点レーザー顕微鏡)の運用責任者として活動する。			0.10	所属施設の全学情報システム運用委員会技術責任者および技術担当者として活動した。センター共通分析機器の運用責任者として活動した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新里 尚也	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	共通科目「生命科学入門」、ならびに工学部で担当するの「環境衛生工学」について、講義内容の見直しを行い、図表等を多様したわかりやすい講義を実施する。講義のアンケートで理解度を評価し、全く理解できなかったとする学生が極力でない講義を目指す。担当する学生の進路決定に積極的に関わり、本人の希望と適正に合った就職、進学先へ進めるように、卒業研究のスケジュール管理も含めて努力する。			0.20	「生命科学入門」では担当する章が増えたこともあり、内容の見直しを行った。また、「環境衛生工学」についても、理解できない学生が出ないように講義のポイントを整理し、29名の受講生のうち1名を除いて単位を認定することが出来た。工学部より受け入れた卒論生一名について、就職活動がスムーズに行えるように実験等のスケジュールに配慮し、第一希望の排水処理系の企業の内定を得ることが出来た。		
研究	0.60	自らが執筆する共著論文2報以上の投稿を目指す。また研究資金面では、積極的に競争的資金への応募や共同研究に参画し、1件以上の外部資金獲得を目指す。			0.60	生物資源活用を目指したAMEDプロジェクト(共同研究)に、昨年度より引き続き参画した。また、沖縄県の知的クラスター事業を単年度ながら受託した。論文は共著論文3報が掲載された。		
社会 貢献	0.10	研究事業やインキュベーション施設の運営・推進委員として沖縄県の科学技術振興に貢献する。その他、インターンシップの受け入れ等を通じた地域社会への貢献も積極的に行う。			0.10	昨年度より引き続き、沖縄県の主要な研究施設(沖縄県健康バイオセンターならびにライフサイエンス研究センター)の運営委員を務めた。その一方で、5名の高校生を受け入れ、実験を中心としたインターンシップを実施した。		
管理 運営	0.10	地域貢献推進委員や危機管理対策委員として大学運営に貢献するとともに、全学的な研究支援として、先端シーケンサー運用への体制づくりも進める。また、レイアウト委員やオープンキャンパス準備委員としての仕事を通して、分子生命科学研究施設の管理運営に積極的に参加する。			0.10	亜熱帯島嶼科学拠点研究棟における、ゲノム解析室等の機器整備に積極的に関わり、多くの解析アプリケーションに対応できる体制を整えた。また、H27年度の12月より先端シーケンサー(MiSeq)の運用を開始した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山平 寿智	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.25	博士前期過程(進化生態学特論)と博士後期過程(熱帯進化生物学)の講義をそれぞれ開講する。また、週1回の研究室セミナーを通じて、研究室に所属する大学院生の教育・研究指導を行う。特に、主指導をしている学生2名に対しては、適宜個別面談による研究指導も行う。		0.25	博士前期過程の講義(進化生態学特論)を開講した。また、週1回の研究室セミナーを通じて、研究室に所属する大学院生の教育・研究指導を行った。主指導の博士後期課程の学生1名および特別プログラム博士後期課程の留学生1名に対しては、適宜個別面談による研究指導も行った。			
研究	0.40	科研費による研究を実施し、学術誌等での論文3編を目標に成果発表を行う。これと並行して、国立遺伝学研究所、および名古屋市東山動物園との共同研究を継続する。また、神戸大学、および岐阜大学との共同研究を新たに開始する。		0.40	科研費による研究を実施し、国際誌5編および学会発表3件の成果発表を行った。また、国立遺伝学研究所、名古屋市東山動物園、および福岡女子大学との共同研究を継続すると共に、神戸大学、岐阜大学、および総研大との共同研究を新たに開始した。日本生態学会九州地区委員の任も遂行した。			
社会貢献	0.10	開邦高校からのインターンシップを受け入れると共に、先方との窓口的業務を行う。また、名古屋市立東山動物園に展示動物を提供し、飼育業務に関するアドバイスを行う。		0.10	開邦高校からのインターンシップを受け入れた。インターンシップでは各校との窓口的業務も行った。また、名古屋市立東山動物園に展示動物を提供し、飼育業務に関するアドバイスも行った。			
管理運営	0.25	西原研究施設長ならびに副センター長として部局の管理運営に携わる。また、熱生研全学委員として熱生研運営委員、ハラスメント防止対策委員、ならびに施設・環境マネジメント委員の任を遂行する。加えて、熱生研の委員として、公開シンポジウム委員ならびに概要作成委員の任も遂行する。		0.25	西原研究施設長ならびに副センター長として施設長懇談会に参加し、部局の管理運営に携わった。また、熱生研全学委員として、熱生研運営委員、ハラスメント防止対策委員、ならびに施設・環境マネジメント委員の任を遂行した。加えて、熱生研の委員として、公開シンポジウム委員の任も遂行した。			
	0.00			0.00				
計	1.00			1.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		内貴 章世	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.15	<ul style="list-style-type: none"> 西表研究施設において担当する予定の集中講義・実習において、生物多様性の理解を効果的に促す指導を行う。 大学院指導資格審査(理工学研究科)を受ける。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> 学内担当の講義に関しては独自の資料を作成・配布し、昨年度と同水準の効果的な講義ができたと考えている。 学外の野外実習を2大学各1講義担当した。相手大学教員と協力して効果的な講義ができたと考えている。 理工学研究科の大学院指導資格(博士前期・博士後期)を取得した。 		
研究	0.60	<ul style="list-style-type: none"> 科学研究費補助金による研究を推進する。 国内外の研究者との共同研究を行う 学会、学術誌において研究成果を発表する。 科研費等の外部資金獲得に取り組む。 			0.60	<ul style="list-style-type: none"> 科学研究費補助金による研究が2つの植物種で推進できた。 4つの研究テーマに関して、国内外の研究者との共同研究を進めることができた。 2件の研究成果を学会で報告し、5編の論文(共著)が査読付き学術誌に掲載された。 新たな外部資金獲得(主に科研費)に向けた取り組みを行うことができた。 		
社会貢献	0.15	林野庁、竹富町、西表野生生物保護センター等と連携した外来種対策、希少種保護の取り組みを進める。			0.15	林野庁と連携した外来種対策、希少種保護の取り組みを進めることができた。		
管理運営	0.10	熱帯生物圏研究センター内委員の役割を果たす。			0.10	熱帯生物圏研究センター内委員の役割を果たすことができた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	新川 武		所 属	熱帯生物圏研究センター	
職 名	教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.30	<p>大学院教育:医学研究科博士課程(医学専攻)の2~3年次を対象とした健康長寿医学プロジェクト/社会医学プロジェクト/再生・再建医学プロジェクトの感染免疫制御学特論を担当する。また、同じく医学研究科博士課程(医科学専攻)の1~4年次を対象とした感染制御医科学専攻の感染免疫制御学特論、感染免疫制御学演習、感染免疫制御学実習を担当する。さらに、同じく医学研究科博士課程の亜熱帯医学特論を担当する。また、医学研究科博士課程の大学院生1名の副指導教員を担当する。</p> <p>学部教育:医学部M2を対象とした免疫学講義の一部(ワクチンと感染症対策)を担当する。また、共通教育科目「生命科学入門」の一部(エビジュネティクス)を担当する。その他、原著論文・総説購読会(Immuology Journal Club/ワクチン勉強会)を実施する。医学部M4を対象とした基礎研究実習生を数名受け入れ、研究現場での実践的な実験作業を経験させる。また、外部資金で雇用している特命研究員、ポスドク研究員、技術補佐員に対しては、独立して研究や実験ができるよう、実験手技的なアドバイスだけでなく、原著論文、競争的資金獲得に向けた研究申請書、報告書等の書き方も適宜指導する。原著論文、HPその他英語による情報発信ができるよう英語教育にも力を注ぐ。</p>	0.25	<p>平成27年度開始時に設定した学生・大学院生に対する教育および学生支援の目標は全て達成することができた。特に、ポスドク研究員、特命研究員に対しては、就職活動を支援することで、研究開発型民間企業への就職が決定した。英語教育に関しては、英文原著論文の書き方に関する指導は十分であったが、コミュニケーション能力を培う教育についてはその機会に恵まれなかった。</p>	
研究	0.35	<p>サブユニットワクチン開発のための技術基盤構築を目指す。特に、腸管出血性大腸菌(O157等)に対するワクチン開発を目指した研究を推進する。また、天然物ライブラリーから免疫賦活機能性物質(アジュバント)を探索する。これらをつうじて原著論文、学会発表、知的財産権獲得等(可能な限りPCT出願)、有形、無形の研究成果物へ繋げる努力をする。さらに、平成27年度科学研究補助金(基盤研究(C))、平成27年度中期計画達成プロジェクト経費(戦略的研究推進経費・戦略プロジェクト研究)、平成27年度沖縄感染症研究拠点形成促進事業(沖縄県企画部科学技術振興課)、平成27年度沖縄県産業振興公社補助事業、熱帯医学研究拠点特定領域共同研究(長崎大学熱帯医学研究所)、農食研究推進事業発展融合ステージ(農林水産省)、第一三共株式会社TaNeDS等、多くの競争的資金を獲得し、感染症研究のために一層努力する。さらに、感染症研究関連の国際共同研究ネットワーク(特にタイ国マヒドン大学)にも参画する。</p>	0.40	<p>ワクチン開発研究について、特にサブユニットワクチンならびにアジュバント開発については、外部資金獲得に基づく基盤研究が整いつつあり十分な成果を上げることができた。ただし、これらの成果に基づき原著論文を掲載するにはあと数か月を要することから、達成度は80%であると自己評価する(年度内での掲載ができなかったため)。多数の外部資金への申請活動を実施し、一部は獲得に成功した。しかし、年間5千万円以上の規模の複数年に及ぶ大型予算獲得には未だ至っていない。次年度も外部資金獲得には一層の努力が必要だと認識している。</p>	
社会貢献	0.20	<p>研究内容を学会、セミナー、市民公開講座、各種HP、年報、オープンキャンパス、施設公開等を利用して幅広く宣伝することで、地域社会へ科学技術の重要性を伝える活動に積極的に参加する。また、今年度で10年目を迎えるバイオベンチャー企業とのレンタルラボを介した共同研究活動では、科学技術顧問として学術および技術面から支援し、沖縄のバイオ産業と科学技術振興に貢献すると同時に動物用医薬品の開発をより一層推進する。産学連携推進機構知的財産部門部門長として一般財団法人沖縄発明協会の活動に参加する。文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センターの専門調査員として国の科学技術の動向に対する意見書等を提出することで我が国の科学技術の進展にも寄与する努力をする。日本寄生虫学会の評議委員として働く。</p>	0.20	<p>平成27年度開始時に設定した社会貢献に関する目標は全て達成することができた。特に、本学の産学官連携推進機構をつうじた地域社会との連携および地域社会への貢献の観点からは、目標設定した以上の活動に従事した。また、農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業の評価委員の役割も果たした。</p>	
管理運営	0.15	<p>熱帯生物圏研究センターの管理運営が滞りなく進むようGLメンバーの一員として働く。その他、熱帯研教授会構成員、熱帯研運営委員会委員、熱帯研教員人事委員会委員並びに調書作成委員を担当する。また、産学官連携推進機構知的財産部門部門長、発明審査委員会委員長、動物実験安全委員会委員、医学研究科教授会構成員、医学研究科学務委員会委員を担当する。</p>	0.15	<p>平成27年度開始時に設定した管理運営に関する目標は全て達成した。</p>	
	0.00		0.00		
計	1.00	<p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>	1.00	<p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		松崎 吾朗	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	大学院医学研究科感染制御医科学専攻生体防御学講座を担当し、大学院における講義と研究指導を実施する。担当する大学院生については、研究ならびに発表の指導を個別に行う。医学部の免疫学および細菌学の講義を分担することにより、感染症制御に関する教育を行う。学外においては、非常勤講師として講義を行う。共通教育では、「生命科学入門」の企画した講義を分担することにより、教養の生物学教育に参加する。			0.20	大学院医学研究科感染制御医科学専攻生体防御学講座を担当し、大学院における講義と研究指導を実施した。担当する大学院博士課程の学生の研究ならびに発表の指導を行ってが、当該学生は一身上の都合で退学した。医学部の免疫学および細菌学の講義を分担し、感染症制御に関する教育を行った。学外においては、島根大学医学部および佐賀大学医学部の非常勤講師として講義を行った。共通教育では、「生命科学入門」の企画した講義を分担することにより、教養の生物学教育に参加した。		
研究	0.40	自らの研究テーマについて研究を推進するとともに、学内外の研究者と共同研究を行い、その成果を英文原著論文として投稿し一流専門誌への採択を目指す。また、学会における研究成果の発表と討論により、研究者間の情報交換を行い、それによる研究の改善を目指す。研究経費については、すでに獲得が決定している科学研究費補助金による研究を継続するとともに、次期科学研究費補助金の獲得を、さらに企業との共同研究経費の獲得を目指す。			0.40	自らの研究テーマについて研究を推進するとともに、学内外の研究者と共同研究を行い、その成果を英文原著論文として投稿しその5報が一流専門誌に掲載された。また、日本比較免疫学会における研究成果の発表と討論、日本生体防御学会、日本免疫学会、および日本細菌学会に参加して討論と研究者間の情報交換を行い、それによる研究の改善を行った。研究経費については、すでに獲得が決定している科学研究費補助金による研究を継続するとともに、次期科学研究費補助金の申請を行い、さらに企業との共同研究経費を2件獲得した。		
社会 貢献	0.10	日本生体防御学会会長として、学会の運営の中心となるとともに、他学会の評議員として学会運営に参加する。また、学外の遺伝子組換え生物等使用安全委員会および病原体取扱安全委員会に参加し、適正な遺伝子組換え生物および病原体の使用の実施に貢献する。			0.10	日本生体防御学会会長として、学会の運営の中心となるとともに、日本免疫学会、日本細菌学会の評議員として学会運営に参加した。また、OISTのBiosafety委員会に委員長として参加し、適正な遺伝子組換え生物および病原体の使用の実施に貢献した。		
管理 運営	0.30	琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全委員会の委員として、琉球大学における遺伝子組換え生物等使用の適正な運用と管理のに貢献する。また、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設長として、センターの管理運営に積極的に参加する。			0.30	琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全委員会の委員として、琉球大学における遺伝子組換え生物等使用の適正な運用と管理のに貢献した。また、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設長として、センターの管理運営に積極的に参加した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高相 徳志郎	所 属		熱帯生物圏研究センター	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育に参加するが、体験学習を重要視する。 ・北部農林高校で出前授業等を担当した。 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を重要視した授業を行った。 ・琉球大学が開校する出前授業等を担当した。 			
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・景観改善、ヤマネコ事故防止に用いる地被植物の繁殖法の確立研究を行う。 ・マングローブ植物の授粉機構の論文を作成する。 		0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・景観改善、ヤマネコ事故防止に用いる地被植物の繁殖法の確立研究を行ったが、特に土壌との関係を調べた。 ・マングローブ植物の論文を完成できなかったが、継続中である。他に共著論文一報を作成した。 			
社会 貢献	0.55	<ul style="list-style-type: none"> ・景観改善に地被植物が有効であることを啓蒙し、実践する。 ・マングローブ植物の本の和訳を予定している。 ・植物の形態について地域社会を対象とした授業を開講する。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・景観改善に地被植物が有効であることを啓蒙し、実践したが、行政から評価を受けるようになった。 ・翻訳が執筆遅れで延びている。 ・植物の形態について地域社会を対象とした授業等をした。 			
管理 運営	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・熱生研の組織運営にあずかる。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・熱生研の組織運営にあずかった。 			
	0.00			0.00				
計	1.00			1.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		梶田 忠	所 属		熱帯生物圏研究センター
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 熱帯生物学研究センター西表研究施設への着任に伴い、新しい教育環境に速やかに適合し、教育および研究者育成の体制を整える。 前職で指導にあっていた大学院生の指導を継続し、現職の職務内で教育や研究支援が実施できる体制を整える。 新サーバを構築して、IT技術を利用した教育方法を導入する。 西表研究施設への進学者が増加することを旨として、学生向けの情報発信を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 教育および研究者育成の体制を整えることができた。次年度からは博士学生1名を主指導教員として研究施設指導する準備を整えた。 前職(千葉大学)で指導にあっていた学生を遠隔地から指導できる体制を整えることができた。課程博士学生1名は学位取得終了見込みとなった。博士課程学生2名は学振特別研究員DC2採用予定。 新サーバ(http://iriken.com)を構築して、IT技術を利用した教育方法(Moodle)を導入した。他大学で担当した3つの授業で用いた。 西表研究施設への進学者が増加することを旨として、学生向けの情報発信を行った。次年度に進学者説明会を実施する計画を立てた。
研究	0.50	<ul style="list-style-type: none"> 西表研究施設における研究環境に速やかに適合し、自身の研究体制を整える。 科学研究費補助金による共同研究体制を複数構築し、研究施設の利点を生かした研究体制を構築する。 熱帯生物学研究センターを拠点とするマングローブの国際研究ネットワーク形成に向けて、競争的資金獲得の準備を開始する。 YList(植物和名一学名インデックスデータベース)の外部公開に向けて準備を整える。 研究成果を論文や学会発表を通して公開する。 		0.50	<ul style="list-style-type: none"> 西表研究施設における研究環境に適合し、自身の研究体制を整えることができた。新サーバ(http://nesseiken.info)を構築して、研究情報を発信した。 国内外で、科学研究費補助金による新たな共同研究体制を複数構築し、研究活動を実施した。また、栽培実験など、研究施設の利点を生かした研究体制を構築した。 センターを拠点とするマングローブの国際研究ネットワーク形成に向けて、競争的資金獲得を目指した申請を行ったが、不採択だった。次年度に向けて計画を改善中。 YList(植物和名一学名インデックスデータベース)を外部公開するために、新サーバ(http://ylist.info)を構築した。データベースシステムを随時調整中。 研究成果の発表実績:論文 3報(出版2, アクセプト1)、学会発表6件。 外国人研究者3名を、受入研究者として西表研究施設で受入れ、共同研究を実施した。
社会 貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> 日本植物分類学会等の委員会活動に参画する。 マメ科植物の多様性研究の国際会議(H28年8月開催)に向けて準備を整える。 マングローブの遺伝的多様性保全のための国際研究ネットワークの代表者、H26年度末実施の日本-ブラジル若手研究者ネットワークのコーディネーターとして、研究ネットワークの維持に努める。 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> 日本植物分類学会等の委員会活動に評議員として参画した。 国際マメ科植物会議のメインオーガナイザーとしての活動を行った。会議はH30年に延期され、熱生研主催で実施できるよう、改めて準備・調整中。 マングローブの遺伝的多様性の国際研究ネットワークの代表者として、IUCNの専門委員などの活動を行った。ブラジル研究ネットワークの維持を、西表研究施設滞在中のブラジル人研究者と共に実施した。
管理 運営	0.05	<ul style="list-style-type: none"> 熱帯生物学研究センター西表研究施設の職務内での管理運営責任を果たす。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> 研究施設の職務内での運営責任を果たした。 研究施設サーバ(上記・http://nesseiken.info)の維持管理を行った。また、施設内限定のwikiを導入し、情報共有システムを構築した。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	